

旭川市地域自治推進ビジョン改訂案（概要）



1 旭川市地域自治推進ビジョンについて

地域づくりに取り組むための考え方や方向性

本市では「旭川市地域自治推進ビジョン」を策定し、町内会や地域の様々な団体による自主的な活動を通じた地域づくりの推進に取り組んでいます。本ビジョンでは、行政と様々な団体が適切な役割分担のもとで協力し、共に地域づくりを進めるための基本的な考え方や方向性を示しています。



2 改訂する理由

地域を取り巻く環境が大きく変化

ビジョン策定から約10年が経過し、人口減少や少子高齢化、感染症の拡大、価値観の多様化など、社会情勢は大きく変化しました。また、市民アンケート等を通じて、地域コミュニティでは担い手不足や負担増加といった課題も明らかになっています。こうした現状を踏まえ、持続可能な地域づくりのため、ビジョンを改訂することとしました。

人口減少
少子高齢化

ライフスタイル
や価値観の多様性

感染症後の社会

3 改訂の視点

持続可能な地域づくりを目指して



地域活動を担う人の負担を軽減



新たな担い手の育成や確保



地域で活動する様々な団体との連携



デジタル技術を活用した情報共有や
発信を効率化

4 主な改訂内容

優先課題を新たに設定

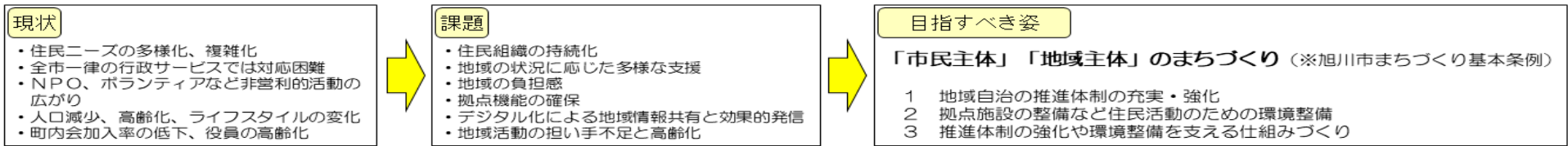
改訂に当たり「基本目標」や「目標の達成像」は概ね踏襲し、地域活動の持続化に向けた優先課題として行政からの依頼業務の負担、地域活動の負担や役員の高齢化や担い手不足がある現状を踏まえ「町内会の負担軽減」と「新たな担い手の育成・確保」を設定しました。また、これらの優先課題に取り組むための具体的な取組をビジョンに組み込み、持続可能な地域づくりを実現することで、安心安全な地域社会の実現を目指します。

旭川市地域自治推進ビジョン改訂案（概要）



旭川市地域自治推進ビジョンにおける考え方（体系図）

※推進ビジョンにおける考え方を体系図として示しています。
詳細は、第3章～第5章をご覧ください。



理念	基本目標	目標設定の背景	目標の達成像	優先課題	取組の方向	具体的な取組
地域や住民が主体的に考え行動できる地域づくりの推進	組織間の連携促進と機能強化	<ul style="list-style-type: none">・地域における支え合い機能の重要性・多くの団体やNPO、企業等が連携した持続的な組織体制の構築	<ul style="list-style-type: none">・町内会を基礎に多くの団体が連携し、持続可能で柔軟な組織活動を展開・組織相互の連携で情報、人的資源を共有し、個々の団体、組織の活動が互いに充実	町内会活動の負担軽減 新たな担い手の育成・確保	<ul style="list-style-type: none">・団体、組織の幅広い連携を促進し、情報、ノウハウを共有・持続的、柔軟な体制を築き、まちづくり協議会の機能強化を支援	<ul style="list-style-type: none">○地域づくりの体制強化<ul style="list-style-type: none">・まち協を通じ地域間のネットワーク機能を強化し、組織間の有機的な連携を促す・多様な団体から参画を得るための啓発と、新たな担い手の確保、参画しやすい環境づくり
	行政支援と機能の充実	<ul style="list-style-type: none">・住民組織が活動しやすい環境整備、業務負担軽減の必要性・地域の特性、資源を生かしたまちづくりの促進	<ul style="list-style-type: none">・住民組織が安定的に力を発揮し、自主自立が確立するための確かな行政支援の実施		<ul style="list-style-type: none">・主体的な地域活動の促進・地域自治を促進する行政組織体制の充実と仕組みづくり	<ul style="list-style-type: none">○行政支援<ul style="list-style-type: none">・多様な主体との協働を促す役割を担い、地域活動の支援、助言体制づくりを進めるとともに、補助事業等による支援を継続する・地縁団体が本質的活動に注力できるよう、行政依頼事項を見直し、業務の負担軽減を図る・庁内組織による支援の強化・充実
	地域の活動拠点機能の整備・充実	<ul style="list-style-type: none">・人や情報が集まる活動拠点の必要性・個性ある地域づくりには、地域会館の活動拠点の維持を図る	<ul style="list-style-type: none">・地域の活動拠点に人と情報が集まり、共有され、地域活動が活性化・地域会館が持続的に活用されている状態		<ul style="list-style-type: none">・住民活動と行政支援機能としての拠点設定・拠点機能の充実と地域が有する施設機能の連携強化	<ul style="list-style-type: none">○地域拠点機能<ul style="list-style-type: none">・まち協地域ごとの拠点の設定・拠点施設機能（相談・地域活動支援・コーディネートなど）の整備・充実・公共施設の指定管理者によるまち協事務局運営・多様な主体が活動を行えるよう、活動場所の確保、整備、地域会館の情報提供
	上記3つの基本目標を補充					
	地域範囲の最適化	<ul style="list-style-type: none">・地域課題を共有できる範囲設定の必要性・行政目的に応じた地域区分との整合	<ul style="list-style-type: none">・地域内における行政機能、公的サービスが整理され、利便性が向上し、地域活動が活性化		<ul style="list-style-type: none">・地域活動や行政機能の展開に応じた地域範囲の最適化	<ul style="list-style-type: none">○範囲の最適化<ul style="list-style-type: none">・活動状況を勘案した地域範囲・行政目的に応じた所管区域の実態把握・合併・再編の環境整備
	情報共有体制の強化	<ul style="list-style-type: none">・地域と行政の情報共有の必要性・情報発信の仕組み（デジタル化）の充実	<ul style="list-style-type: none">・デジタル化で情報共有・業務負担軽減が進み、地域活動が多様化し行政との良好なパートナーシップが確立		<ul style="list-style-type: none">・デジタル技術を活用した地域情報の共有・広報強化により、住民組織の連携と活動の持続化を促進	<ul style="list-style-type: none">○地域情報の共有<ul style="list-style-type: none">・地域情報の収集とホームページやSNS等を通じた効果的な情報発信・まち協のネットワーク機能を活かした要望等の一元収集と市政情報等の発信に向けた仕組みづくり・デジタルディバイド対策
	地域活動参画に向けた環境づくり	<ul style="list-style-type: none">・担い手不足・地域活動への参画しやすい環境づくりの重要性	<ul style="list-style-type: none">・地域づくりの担い手が育つ環境の整備・ライフスタイルに応じた地域活動への関わり		<ul style="list-style-type: none">・新たな担い手の育成と活動を牽引する人材確保・地域活動に取り組みやすい環境づくりと参加への啓発	<ul style="list-style-type: none">○地域活動への参画促進<ul style="list-style-type: none">・地域づくりに関する研修や啓発活動の充実・地域活動への参画意識を育むための学校教育機関との連携・デジタルツールの導入等による参加しやすい環境づくり